8｜12 夢の舞台へ

新十津川中学校吹奏楽部が、９月６日に札幌コンサートホールKitaraで開催される、第58回北海道吹奏楽コンクールへの出場を決め、教育長へ報告を行いました。

全道大会への出場は新中始まって以来の快挙で、「みんな喜んでいます。全道コンクールでも頑張ります」と部長の長太香凜さんがあいさつし、熊田教育長は「道内一音響の素晴らしいホールKitaraで素晴らしい演奏をしてきてください」と激励しました。

8｜20 母村で水害慰霊祭

母村奈良県十津川村の21世紀の森・紀伊半島森林植物公園で、明治22年および平成23年の大水害で亡くなった方に哀悼の意を捧げる、水害慰霊祭が行われました。

本町からは、植田町長や長谷川議長らが参列し、犠牲者の霊を慰めました。

8｜24 元気によーいどん

子育てスクールの運動会が、ゆめりあで開催され、20組の親子が各競技に参加しました。

参加者からは、「子どもが一生懸命走る姿が見られてよかったです」、「種目がたくさんあり、やるほうも、見るほうも両方楽しめました」との声がありました。

8｜29 長寿を祝う会

改善センターで長寿を祝う会が開催され、喜寿や米寿などの慶祝者ほか427人が出席しました。

慶祝者を代表して橘昭夫さんは、「私たちは、歴史を学び後世に伝えなければなりません。そのために、健康に留意し、楽しく、幸せな日々にしていきましょう」とあいさつしました。

出席者たちは親睦を深め、楽しいひとときを過ごしました。

8｜6 福島県の子どもたちと

東日本大震災後、被災地の子どもたちを毎年受け入れている「ほっこり村祭り」（実行委主催）が、ふるさと公園で開催されました。

乗馬やボール天国（サッカーなど）で楽しんだ福島県からの親子は、「震災後、孤独感や不安感が大きかったけれど、ひとりではないのだと感じました」と話していました。

8｜6 国学院道短大部と相互協力

国学院道短大部と教育委員会は、教育の充実や発展のため、相互に連携協力する協定を締結しました。

田村学長が、「現地の子どもたちと触れ合う機会が大切なので、多様な経験ができる場を与えていただき感謝します」と述べると、熊田教育長は、「今までも町の事業に対して協力関係にありましたが、さらに飛躍するため、より関係を深め充実させたいです」と述べました。

8｜8 卓球女子個人戦で快挙

８月２日から４日に行われた、卓球中体連全道大会女子個人戦で、後木玲奈さん（写真右）が５位、須藤未羽さん（写真左）が９位という成績を収め、全国大会への切符を手に入れました。

８月17日から岐阜県で行われた全国大会では、接戦の末、惜しくも初戦敗退となりましたが、新中初めての全国大会出場という快挙を成し遂げました。

8｜10 剣士たちの戦い

新十津川町尚武会主催の町内剣道大会が中学校武道場（尚武館）で行われ、小学生25人、中学生４人、大人５人が出場しました。

中学校武道場の建築後、初めての大会開催にあたり、白石昇尚武会会長は「力いっぱい頑張ってください」、植田町長は「元気はつらつと試合を行い、素晴らしい歴史を作ってください」と激励しました。

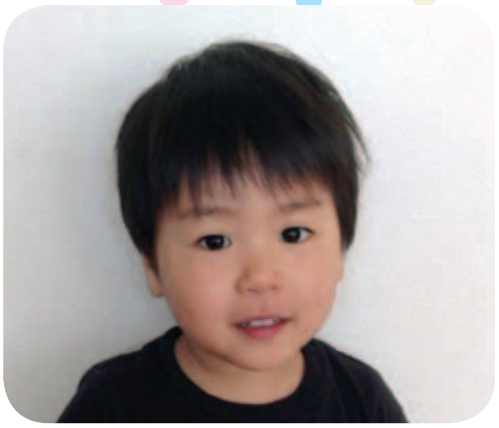
（結果は13ページ）

広報しんとつかわ ⑨月号
■平成25年９月15日発行　第801号　MAIL shintotsu@town.shintotsukawa.lg.jp　公式ウェブサイト　http://www.town.shintotsukawa.lg.jp/
■編集・発行　新十津川町総務課企画調整グループ　〒073-1103　北海道樺戸郡新十津川町字中央301番地１　TEL 0125-76-2131　FAX 0125-76-2785

ハッピーバースディ

政所（まんどころ）ここ菜（な）ちゃん(文京)
平成22年９月４日生まれ
好きなもの　アンパンマン

土佐赤兎（とさせきと）くん(文京)
平成22年９月22日生まれ
好きなもの　ウルトラマン



村田悠馬（むらたゆうま）くん(文京)
平成22年９月29日生まれ
好きなもの　パン

瑞宝双光章

佐瀬信男さん（みどり）
足寄町で20年にわたり特定郵便局長を務め、郵政事業の発展に寄与しました。

作品募集中!!

広報発行月の前月15日までにご連絡ください。
総務課企画調整グループ　☎76・2131

★私のベストペイント・・・・・読者が描いた絵画
★私のベストショット・・・・読者が撮影した写真
★幸せなお二人に乾杯・・・結婚式での２人の写真
★ハッピーバースディ
・・誕生日を迎える２歳、３歳のお子さんの写真

ひとの動き

男	３２３５人	（前月比　－５）
女	３７７６人	（前月比　－１）
計	７０１１人	（前月比　－６）
世帯	２９５９戸	（前月比　＋２）

７月末現在 ※外国人住民を含む

町民憲章（昭和45年制定）

わたしたちのまちは、十津川郷からの団体移住によってひらかれ、たくましい開拓精神と団結の力できずかれた由緒ある町です。
わたしたちは、このまちの町民であることに誇りをもち、たがいのしあわせと郷土の発展をねがい、ここに町民憲章を定めます。

一　自然を愛し、緑の美しいまちにしましょう
一　心とからだをきたえ、健康で明るいまちにしましょう
一　働くことに誇りをもち、ゆたかなまちにしましょう
一　きまりをよく守り、住みよいまちにしましょう
一　未来に夢をもち、子どものしあわせなまちにしましょう

７月の交通事故

発生件数	０件	（前年比　－１）
死者数	０人	（前年比　±０）
負傷者数	０人	（前年比　－２）

交通死亡事故ゼロ日数
４６４日　７月末現在